

第157回まちづくり町民講座
ニセコ町地域づくりセミナー～ニセコ女子に贈る自治創生セミナー～
開催結果

1. 日 時：平成28年11月22日（火）18：30～20：45

2. 場 所：ニセコ町民センター 小ホール

3. 参加者：20名（うち女性4名）

4. 内 容：

①開催挨拶（5分）

②セミナー趣旨説明（5分）

③基調講演（株式会社博報堂 木下 富美子氏）（60分）

男女が共に歩む地域づくり～みんなで変える町の未来～

④参加者によるグループワーク（60分） 4グループ

「できたらいいな」を「やってみる」

⑤まとめ（木下先生からの講評）（5分）

5. 講師への質疑：

・なぜ女性の社会進出が進まないのか？

→女性と男性双方に問題があり、女性の社会進出を促す制度があるが、出産後に戻る価値のある仕事であるかという意識の問題。また、子育て女性へ気を使いすぎて仕事を減らすことでやる気が無くなる問題が考えられる。

さらにキャリアを積むことで女性として見られなくなる風潮がある。

・今日のセミナーも女性の参加が少ない。

→江差町（シティマネージャーとしての派遣先）では総合戦略策定の際に開催したワールドカフェへの女性参加は3割程度だった。

・江差町では総合戦略策定後に町民の方が集まる講座等を開催したか？

→総合戦略策定というゴールに到達したことと、戦略で策定した事業の推進が忙しく開催はしていない。

6. ワークショップ結果要旨：

【A班】

・多様性が尊重されるコミュニティーができればいい。

・今日のセミナーに女性参加者が少ない。→開催方法を見直したほうがいい。

・参加者が少ないことはしっかり解決してほしい。

・役場が現場に出て行き、意見を聞くことができればいい。

・母親が集まる会合を活用し、女性の声を聞いてはどうか。

・参加しやすくなるテーマやストーリーを考えてはどうか。

【B班】

- ・農業女子による特産品づくりをやるといい。
- ・女性に参加してもらえるイベントを開催したらいい。
- ・女性目線の職場改善をやる。
- ・正職員だけでなく臨時職員を含めた平等をつくる。
- ・フレックスタイムの導入を進める。

【C班】

- ・何か始めるには、まず3～5人の核になる人が必要。次に、ニセコ町には多様な人がいるので、潜在的人材を発掘する。町内には、女性中心の会合や男女比が5対5の会合等、たくさんグループがある。いろいろなグループの話を聞き合い発信することで、グループ同士がつながり、共感し合う姿を目指すべき。以上のことを、楽しくやるのが大切。

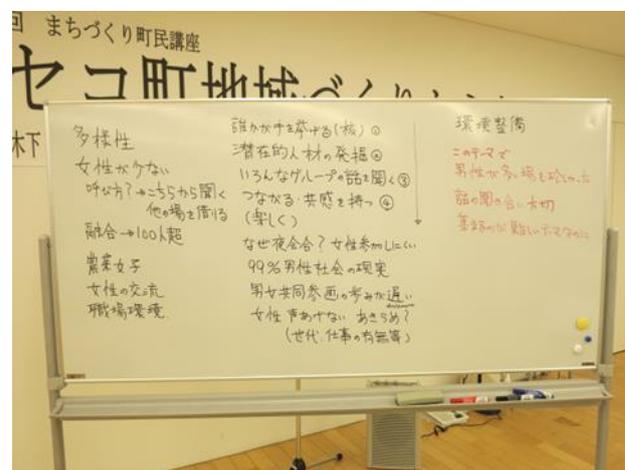
【D班】

- ・今日のセミナーに女性参加者が少ないのは、開催時間が悪いため。
- ・女性のためにセミナーを昼間に開催したらいい。
- ・男女平等と言っても現実には99%男性社会になっている。
- ・男女平等と言っているが現実が違う。そのことに男性は気づいていない。
- ・女性活躍推進法等の法的整備が進んだが、まだまだ遅く、更なる法的整備が必要。
- ・女性の年齢によって男女平等を諦めている。
- ・仕事（就職）をしている女性は発言しやすい。（専業主婦は発言できない）
- ・女性だけの集まりがあるといい。

7. まとめ（木下先生による講評）：

- ・今日のセミナーテーマで男性参加者が多いのは珍しい。
- ・男性、女性双方の話を聞き合うことが必要。
- ・セミナーのテーマが難しいので、参加者が少ないのではないか。人の集まる場所に向き話を聞いてくることも必要。

(セミナー風景)



会場アンケート (文章表現はアンケート用紙記載のとおり)

1. 「声なき声」をどうやって拾うか？
 ということがまちづくりの根本であり、そうすることで「つながり」のある町になっていくと思います。
 ・女性が参加できない時間帯だとか声をあげないとかの意見がありました。どの時間帯でも参加できない人はいますし、声はこちらから拾いに行かないとダメでしょう。